



(昨年8月5日、子ども伝統芸能フェスティバル)

先人から 受け継ぐ(13) よりきねんぶつけんばい 寄木念仏剣舞

寄木念仏剣舞は、約320年前、天候不順による凶作続きと岩手山の噴火による民家の破壊や降灰で、数多くの犠牲者が出たときに、修行途中で通りかかった山伏「伊藤西念」が、村人を勇気付け犠牲者の霊を慰めるとともに、「五穀豊穡」「悪魔退散」を願い、踊りを教えたのが始まりと言われています。

踊りの種類は、「太刀踊り」や「駒踊り」、12種類の「中踊り」があります。

現在は、寄木小学校の児童を中心に伝承されており、学校の運動会や文化祭などで披露されています。

◎保存会代表 伊藤政子さん

◎市指定無形民俗文化財指定日 昭和50年10月11日(旧松尾村指定)



市民の代表である議員の皆さんには、積極的に地域の声を吸い上げてもらうことで、市民のニーズをつかむ活動を期待します。

ペンションを経営する傍らで、八幡平サーキットサンマリノグラウンドを運営していて、市内にはたくさん観光資源があるのを感じます。有効活用して市の観光振興に取り組み、共存していくことが大切だと思います。「八幡平・安比ゆきフェスティバル」期間中に安比高原スキー場、八幡平リゾートパノラマ・下倉スキー場の共通リフト券付の宿泊パックが販売されましたが、これをシーズンを通してできるようにしてもらいたいですね。

地域の資源活用した 観光振興の推進を



あきやひろゆき 秋谷弘之さん(温泉郷)

議会のまど